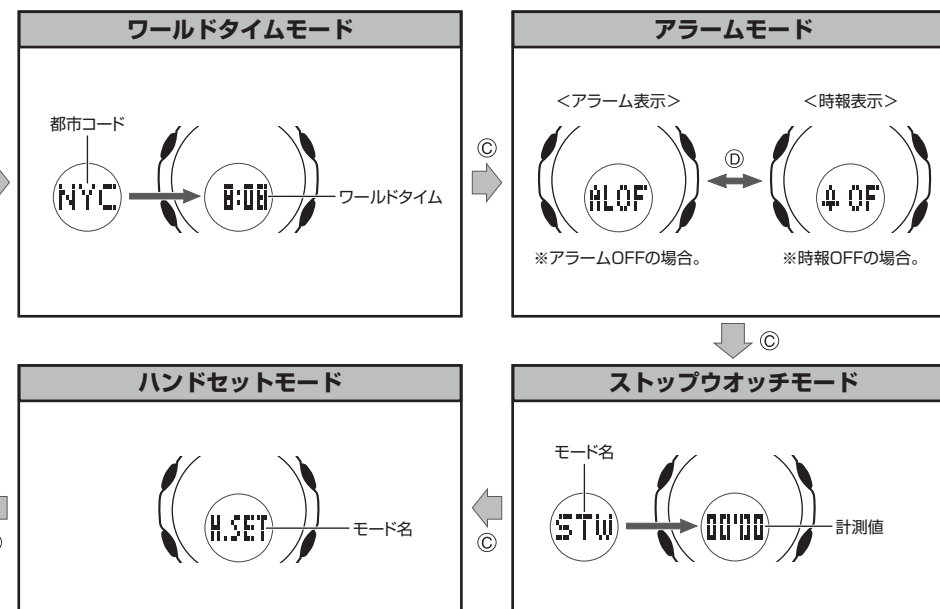
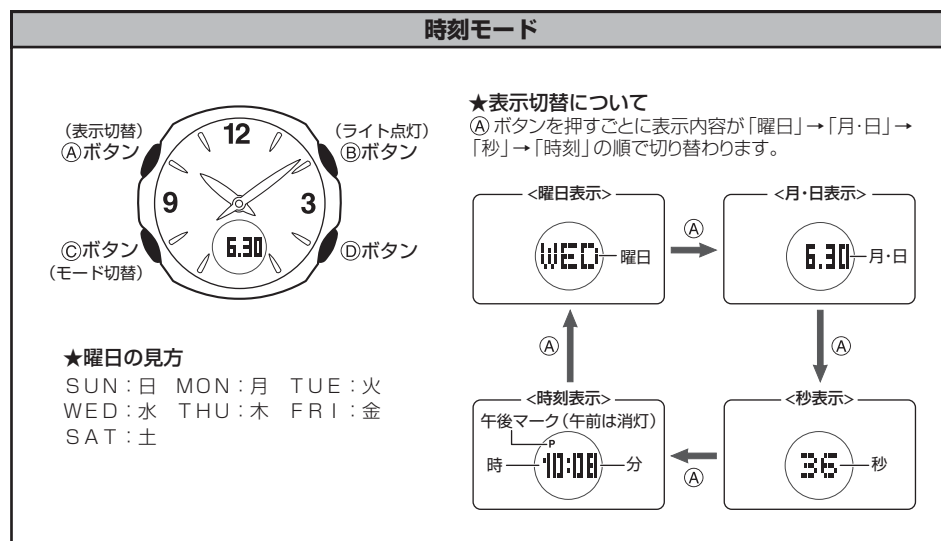


操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

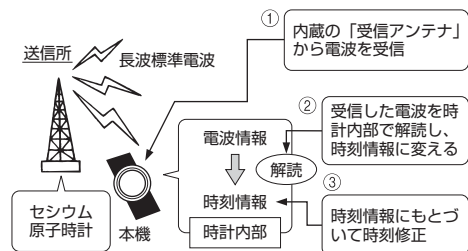
※アラームモード、ハンドセットモードのまま2～3分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。



電波時計について

■ 電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。



電波時計は正確な標準時を受信していますが、時計内部の時刻演算処理等により、時刻表示に1秒未満のズレが生じます。

■ 標準電波

●日本の標準電波 (JJY) は独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) が運用しており、福島県田村郡の「おたかどや山標準電波送信所 (40kHz)」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山標準電波送信所 (60kHz)」から送信されています。

●アメリカの標準電波 (WWVB) はNational Institute of Standards and Technology (NIST) が運用しており、コロラド州の Fort Collins から送信されています。

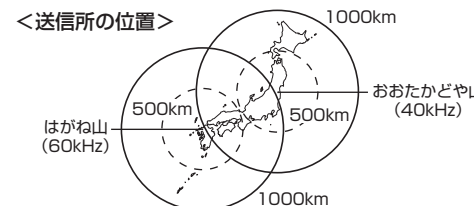
この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることもあります。

■ 電波の受信範囲の目安

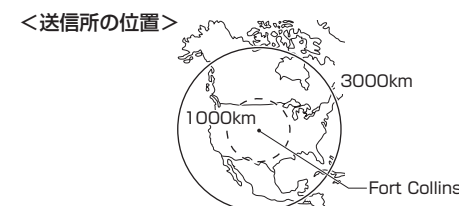
本機は、ホームタイム都市を下記のように設定すると日本の標準電波 (JJY) またはアメリカの標準電波 (WWVB) を受信することができます。(ホームタイム都市の設定により受信する電波は異なります)

* ホームタイム都市の設定については「ホームタイムデータ (時刻・カレンダー) の合わせ方」参照。都市コードについては「■ 都市コード一覧」参照。

ホームタイム都市	受信電波
TYO	「おたかどや山標準電波送信所 (40kHz)」または「はがね山標準電波送信所 (60kHz)」からの電波を受信します。
LAX, DEN, CHI, NYC	コロラド州のFort Collinsからの電波を受信します。



●条件の良いときは、送信所からおよそ1,000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約500kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなる場合があります。

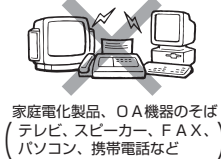
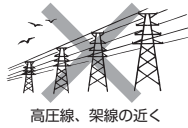


●条件の良いときは、送信所からおよそ3,000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約1,000kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなる場合があります。

※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯 (昼・夜) などによって受信できないことがあります。
※電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。

■ 使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行ってください。
※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。



受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

■ 受信方法について

受信方法には、以下の2種類があります。

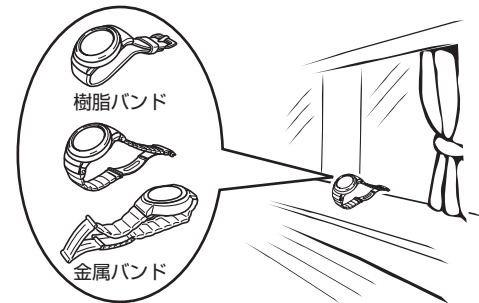
- ① 自動受信 (午前12・2・3・4時に自動受信します)
- ② 手動受信 (ボタンを押して手動受信します)

※自動受信が一度も成功しなかった場合のみ午前5時に受信を行いません。

※工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

● 受信しやすくするために

本機を腕からはずし、金属をさけて下図のように時計上部(12時位置のアンテナ)を外に向けて窓際に置いてください。



- 時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。
- 受信中、時計を動かさないようにしてください。

● 受信時間は？

受信時間はおよそ2～6分です。

※ただし、受信電波の設定で「AUTO (自動選局)」を選んでいるときは、周波数を選択するため、最大12分かかる場合があります。

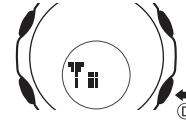
* 受信電波の設定については「■ 受信電波の設定」参照。

● 手動受信

時刻モードのとき

- ① ボタンを約2秒間押し続けます

→ 確認音が鳴り、受信を開始します。受信中は受信インジケータが表示され、受信状態によって変化します。



★ 受信を中止するときは

- ① ボタンを押します

※受信中は① ボタン以外の操作はできません。

★ 受信が成功すると

成功した時点で受信を終了し、時刻を修正後、確認音の報音とともに修正日時を表示します。

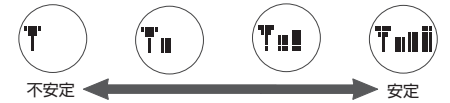
★ 受信が失敗すると (ERR 表示)

時刻修正は行なわれず、「ERR」を表示します。

※何も操作をしないと、1～2分後時刻モードに戻ります。

● 受信インジケータ

受信中は受信状態によって受信インジケータが変化します。安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。



※受信しやすい場所でも、安定するまで約10秒ほどかかります。

- 受信インジケータは、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。
- 天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

● 受信日時の確認

時刻モードのとき

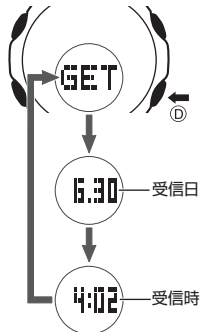
- ① ボタンを押します

→ 受信により最後に修正した月日と時分を表示します。

※「GET」と受信日、受信時は2秒ごとに切り替わって表示されます。

※時刻モードに戻すには、もう一度① ボタンを押します。

※何も操作をしないと、1～2分後時刻モードに戻ります。



■ 受信電波の設定

自動受信のON/OFFを切り替えることができます。なお、ホームタイム都市をTYO (東京) に設定しているときは、受信する電波を選ぶことができます。

* ホームタイム都市の設定については「ホームタイムデータ (時刻・カレンダー) の合わせ方」参照。

※工場出荷時には、「ホームタイム都市=TYO (東京)、受信電波= AUTO (自動選局)」でセットされています。

※ホームタイム都市がTYO、NYC、CHI、DEN、LAXのとき、以下の操作を行なうことができます。

1. 受信日時を表示させる

時刻モードのとき

- ① ボタンを押します

→ 受信日時を表示します。

※何も操作をしないと、1～2分後時刻モードに戻ります。



2. セット状態にする

- ① ボタンを約2秒間押し続けます

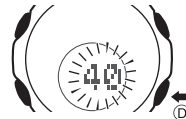
→ 表示が点滅して、受信電波の設定になります。



3. セットする

- ① ボタンを押します

→ ① ボタンを押して、受信電波をセットします。



4. セットを終わる

- ① ボタンを押します

→ 点滅が止まり、受信日時表示に戻ります。

※時刻モードに戻すには、① ボタンを押します。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。



★ ホームタイム都市がTYO の場合

- AUTO
自動受信はONになり、「おおたかどや山標準電波送信所 (40kHz)」と「はがね山標準電波送信所 (60kHz)」からの電波のうち、受信しやすい方を自動的に選びます (自動選局)。
※前回受信に成功した方の電波を優先的に受信します。

- 40
自動受信はONになり、「おおたかどや山標準電波送信所 (40kHz)」からの電波のみ受信します。

- 60
自動受信はONになり、「はがね山標準電波送信所 (60kHz)」からの電波のみ受信します。

- OFF
自動受信はOFFになります。

★ ホームタイム都市がNYC、CHI、DEN、LAXの場合

- ON
自動受信はONになり、コロラド州のFort Collinsからの電波を受信します。

- OFF
自動受信はOFFになります。

■ 受信に関するご注意

- 自動受信は時刻モードとワールドタイムモードでのみ行なわれます。
- 電波を受信するとデジタル部が先に修正され、それに連動してアナログ部（針）が修正されます。アナログ部が正しい時刻を示すためには電波受信前に必ずデジタル部とアナログ部の時刻を合わせてください。
- 自動受信中にボタン操作を行なうと、確認音が鳴り、受信を中断します。
- 受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによってうまく受信できないことがあります。
- 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。

- 本機は日本およびアメリカで送信されている電波に合わせて設定されていますので、電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。
- 電波受信を行なわないときは、月差平均±15秒以内の精度範囲で動きます。
- 極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。
- 受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。
- 本機のカレンダー機能は2099年までですので、2100年以降は受信してもエラーとなります。

■ こんなときには

1. 電波が受信できないのですが？

- 電波の送信が中断していませんか。
電波時計が利用している標準電波（JJY）は、独立行政法人情報通信研究機構（NICT）により運営されておりますが、保守作業や雷対策等で一時的に送信が中断されることがあります。
- 電波が受信できない地域にいませんか。
電波受信ができる地域は、「■ 電波の受信範囲の目安」をご覧ください。
- 電波受信環境が悪い場所にいませんか。
電波受信できる地域であっても電波が遮断されたり、発生するノイズにより受信しにくくなります。受信はこのような場所を避けて行なってください。（「■ 使用場所について」参照）
- ホームタイム都市が間違えて設定されていませんか。
ホームタイム都市の設定が日本（TYO）、ニューヨーク（NYC）、シカゴ（CHI）、デンバー（DEN）、ロサンゼルス（LAX）以外の場合は、電波受信を行ないません。「■ セットのしかた」をご覧ください、ホームタイム都市を正しく設定してください。
- 自動受信設定が OFF になっていませんか。
「■ 受信電波の設定」をご覧ください、自動受信設定を ON に設定してください。

- 自動受信を行なう時間帯（午前12・2・3・4時および5時）に、時刻モードまたはワールドタイムモード以外になっていませんか。
自動受信は時刻モードまたはワールドタイムモードで行なわれませんので、自動受信時間帯は他のモードに切り替えなさい。

2. 電波を受信したのに、時報と時計の表示が若干ずれているのですが？

- 電波時計は標準電波を受信して時刻修正を行ないませんが、時計内部の演算処理等により若干（1秒未満）のずれが発生します。

3. 電波を受信したのに、時刻がちょうど1時間進んでいるのですが？

- サマータイムの設定が ON になっていませんか。「■ セットのしかた」をご覧ください、サマータイムの設定を OFF にしてください。

4. 電波を受信したのに、時刻がくるっているのですが？

- ホームタイム都市の設定が日本（TYO）ではなく、外国都市に設定されていませんか。「■ セットのしかた」をご覧ください、ホームタイム都市を正しく設定してください。

5. デジタル部とアナログ部の時刻が合わないのですが？

- 電波を受信するとデジタル部が先に修正され、デジタル部の時刻を進めた（戻した）分だけ、アナログ部も修正されます。針位置がずれていると電波受信しても正しい時刻を示しませんので、「■ アナログ部（針）の修正」をご覧ください、アナログ部をデジタル部の時刻に合わせてください。

6. 受信電波の設定ができないのですが？

- ホームタイム都市の設定が日本（TYO）、ニューヨーク（NYC）、シカゴ（CHI）、デンバー（DEN）、ロサンゼルス（LAX）以外の場合は、受信電波の設定を行なうことができません。「■ セットのしかた」をご覧ください、ホームタイム都市を正しく設定してください。

7. 受信電波の設定で AUTO または 40、60 が表示されないのですが？

- ホームタイム都市の設定が日本（TYO）以外の場合は、AUTO または 40、60 が表示されません。「■ セットのしかた」をご覧ください、ホームタイム都市を正しく設定してください。

8. 自動受信は何時頃行なわれるのですか？

- 自動受信は電波状況の良い夜間に行なわれます。夜間にお休みのときは、電波送信所方向の窓際に時計の12時位置（受信アンテナ部）を外に向けて置いてください。

9. 手動受信のしかたは？

- 時刻モードのときに ⓐ ボタン（右下）を約2秒間押し続けます。“ビッ”と確認音が鳴って手動受信が開始されますので、電波送信所方向の窓際に時計の12時位置（受信アンテナ部）を外に向けて置いてください。

10. 受信日時の確認のしかたは？

- 時刻モードのときに ⓐ ボタン（右下）を1回押します。電波受信が成功して、時刻修正された日時が表示されます。時刻モードに戻すには、もう一度 ⓐ ボタンを1回押します。

- ★電波受信ができないときや受信しても時刻が合わないときなどは、設定を確認してください。

※本機は工場出荷時および電池交換後には、以下の内容でセットされています。

受信電波	AUTO	日本の標準電波（40kHz/60kHz）を自動選局
ホームタイム都市	TYO	東京
サマータイム	AUTO	電波受信による自動切替

ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、ⓑ ボタンを押すとライトが点灯し、暗いところでも時刻を見ることができます。

※点灯時間は約1.5秒間と約3秒間のいずれかを選ぶことができます。



■ ご注意 ■

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に操作確認音の鳴るボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- 手動受信中は、ライトは点灯しません。

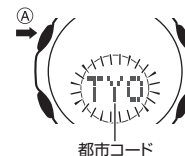
● ライト点灯時間の切り替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約2秒間押し
ます

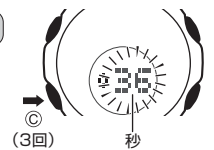
⇒都市コードが点滅します。



2. 「秒」を点滅させる

Ⓒ ボタンを3回押します

⇒「秒」が点滅します。



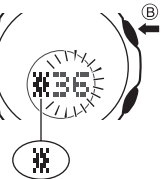
3. 点灯時間を選ぶ

ⓑ ボタンを押します

⇒ⓑ ボタンを押すごとに約1.5秒間と約3秒間が切り替わります。

※ ☆ マーク＝約1.5秒間

※ ※ マーク＝約3秒間



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
 ㊟ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界30都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※ホームタイム（基本時刻）を24時間制にしているときは、ワールドタイムも24時間制で表示されます。

■ご注意■

ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

* セットについては「■セットのしかた」参照。

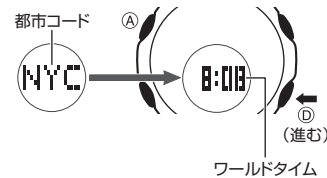
■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

㊟ ボタンを押します

→ ㊟ ボタンを押すごとに都市コードが進みます。都市コードを表示後、その都市の時刻を表示します。

※押し続けると早送りします。



※ ㊟ ボタンを押すと、都市コードを約2秒間表示します。
 ※ 都市コードのないタイムゾーンでは、時差を表示します。

■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

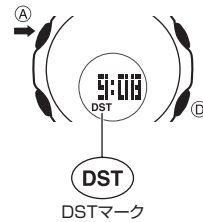
■サマータイムのON/OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、㊟ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

㊟ ボタンを約2秒間押します

→ ㊟ ボタンを約2秒間押すごとにサマータイムのON/OFFが切り替わります。

※ サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
 ※ 各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、「GMT」とホームタイムで設定している都市を表示しているときはサマータイムの設定はできません。



■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
---	-11		JRS	+2	エルサレム
HNL	-10	ホノルル	JED	+3	ジェッダ
ANC	-9	アンカレジ	THR	+3.5	テヘラン
LAX	-8	ロサンゼルス	DXB	+4	ドバイ
DEN	-7	デンバー	KBL	+4.5	カブール
CHI	-6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
NYC	-5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	-4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
RIO	-3	リオデジャネイロ	RGN	+6.5	ヤンゴン
---	-2		BKK	+7	バンコク
---	-1		HKG	+8	香港
GMT	+0	<グリニッジ標準時>	SEL	+9	ソウル
LON	+0	ロンドン	TYO	+9	東京
PAR	+1	パリ	ADL	+9.5	アデレード
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2003年12月現在作成のものです。

※この表の時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

ストップウォッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
 ㊟ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

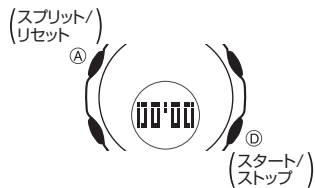
ストップウォッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウォッチモードのとき

㊟ ボタンを押します

→ ㊟ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

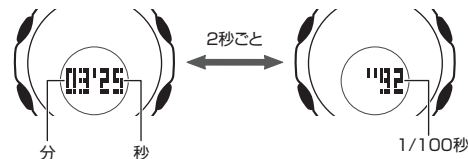


●表示について

・計測中の表示
 「分・秒」を表示します。



・計測停止中の表示
 「分・秒」表示と「1/100秒」表示が2秒ごとに切り替わって表示されます。



●通常計測



計測終了後 ㊟ ボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

＜積算計測＞

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに ㊟ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測



計測中に ㊟ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。

※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

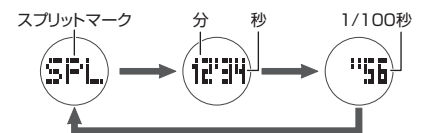
●1・2着同時計測



スプリットタイム表示中に ㊟ ボタンを押すと、スプリットタイムを表示したまま計測が停止します。このとき ㊟ ボタンを押すと、スプリット表示が解除され、停止した時間を表示します。

スプリット表示

スプリット計測中の表示は、スプリットマークと「分・秒」、「1/100秒」が切り替わって表示されます。



アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
 ③ ボタンを押して、アラームモードにします。

アラームモードでは、時分を設定でき、設定した時刻になると10秒間電子音が鳴ります。
 また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

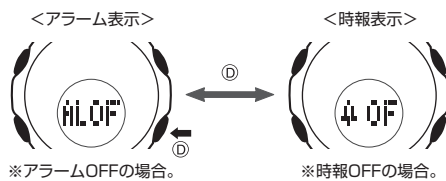
■ 表示切替について

アラームモードのとき

① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとにアラーム表示と時報表示とが切り替わります。

※ モードを切り替えた直後は、前回このモードで最後に見た方を表示します。



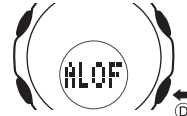
■ アラーム時刻のセット

1. アラーム表示を選ぶ

アラームモードのとき

① ボタンを押します

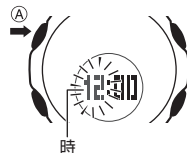
→ ① ボタンを押してアラーム表示を選びます。



2. セット状態にする

① ボタンを約2秒間押します

→ 「時」が点滅します。
 ※ セット状態になると、自動的にアラームがONになります。



3. 「時」をセットする

① または ② ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、② ボタンを押すごとに戻ります。

※ ①・② ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ 「時」のセットのとき午前/午後(P) または24時間制にご注意ください。

※ ホームタイム(基本時刻)を24時間制にしているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。



4. 「分」のセットに切り替える

③ ボタンを押します

→ 「分」が点滅します。

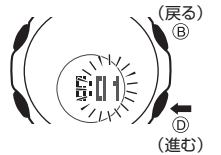


5. 「分」をセットする

① または ② ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、② ボタンを押すごとに戻ります。

※ ①・② ボタンとも、押し続けると早送りします。



6. セットを終わる

④ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

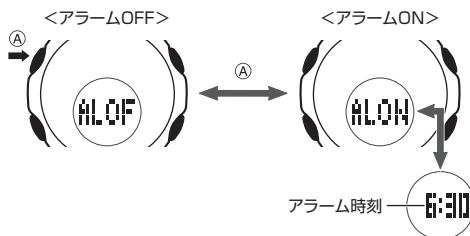
■ アラームのON / OFF 設定

準備: アラームモードのとき、① ボタンを押して、アラーム表示を選びます。

① ボタンを押します

→ アラームのON / OFF が切り替わります。

※ アラームOFFのときは「ALOF」が表示されます。アラームONのときは「ALON」とアラーム時刻が交互に表示されます。



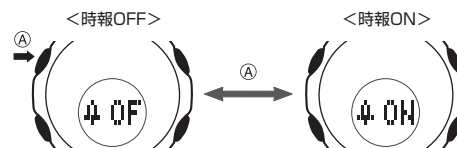
■ 時報のON / OFF 設定

準備: アラームモードのとき、① ボタンを押して、時報表示を選びます。

① ボタンを押します

→ 時報のON / OFF が切り替わります。

※ 時報OFFのときは「4 OF」が表示されます。時報ONのときは「4 ON」が表示されます。



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、① ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域(都市)や時刻・カレンダー等を合わせることです。

※ ホームタイムデータのセットや修正は時刻モードで行ないます。

デジタル部とアナログ部の時刻を同時に修正するとき、デジタル部の時刻を先に修正してください。

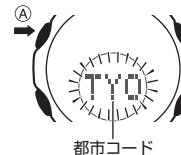
■ セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき

① ボタンを約2秒間押します

→ 都市コードが点滅します。



2. ホームタイム都市を選ぶ

① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとに都市コードが進みます。本機をお使いになる地域(都市)を選びます。

* 「■ 都市コード一覧」参照。
 ※ 押し続けると早送りします。



3. 「サマータイム切替」にする

③ ボタンを押します

→ サマータイムの切り替えになります。



4. 切り替える

① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。



● AUTO

電波受信により、自動的にサマータイムのON/OFFが切り替わります。

※ホームタイム都市がTYOのときは日本のサマータイム情報に、NYC、CHI、DEN、LAXのときはアメリカのサマータイム情報に合わせます。

※自動切り替えの設定はホームタイム都市がTYO、LAX、DEN、CHI、NYCに設定されている場合があります。

● OFF

サマータイムはOFFになります（通常時間）。

● ON

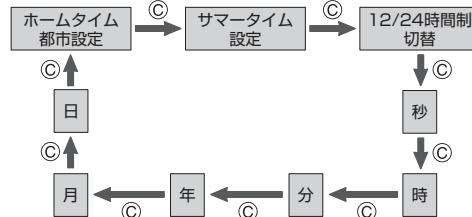
サマータイムはONになります（夏時間）。

※セット完了後、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。

5. セット箇所を選ぶ

③ ボタンを押します

→ ③ ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



6. 点滅箇所のセット

② ボタンを押します

→ ② ボタンで点滅箇所をセットします。

a. 「12/24 時間制切替」のとき

② ボタンを押すごとに12時間制表示「12H」と24時間制表示「24H」が切り替わります。



12/24時間制

b. 「秒」セットのとき

② ボタンを押すと「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス117番」が便利です）

※秒が点滅しているときに②ボタンを押すと、ライトの点灯時間を切り替えることができます（「ライト点灯について」参照）。

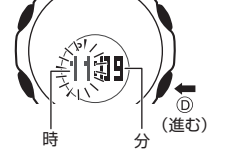


00秒になる

c. 「時」「分」「年」「月」「日」セットのとき

② ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※押し続けると早送りができます。



③ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、② ボタンを押してセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前/午後(P)、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000年～2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

7. セットを終わる

④ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

<シンクロ機能>

デジタル部の時刻を修正すると、アナログ部（針）も連動して修正されます。

※針の修正は、デジタル部の修正に合わせて時計回り（正転方向）に送られます。

※針の修正は、デジタル部の修正時刻によって時間がかかることがあります。

■ アナログ部（針）の修正

アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、ハンドセットモードで合わせてください。

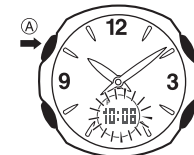
準備：「操作のしくみと表示の見方」にしたがい③ ボタンを押して、ハンドセットモードにします。

1. セット状態にする

ハンドセットモードのとき

④ ボタンを約2秒間押します

→ 「時・分」が点滅します。

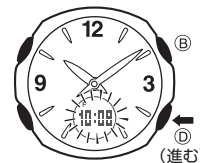


2. アナログ部を合わせる

⑤ ボタンを押します

→ ⑤ ボタンを押すごとに時計回りに1/3分（20秒）ずつ進みますので、デジタル部の「時・分」丁度アナログ針を合わせます。

※押し続けると早送りします。



<針の自動早送り>

● ⑤ ボタンを押して早送り中に⑤ ボタンを押すと、ボタンを離しても針が進み続けます。

● 自動早送りは時計が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。

● 針の早送り中にアラームなどが鳴り出すと針が停止します。報音終了後、再び動き出します。

3. セットを終わる

④ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、分針はそのときの「秒」に合わせて自動的に修正されます。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。